



デイ・サービス

日々の暮らしの中から④

この70年近くの間

日本人の平均寿命は、制度としてこの期間女性で25・5歳、男として脚光を集めているのは23歳伸びた。病めるのが「デイ・サービス」で、今もそこを週2回利用している。それが高齢者である。世はこには「カラオケ教室」や「パチンコ」まである。また、入浴は「デイ・サービス」の重要な仕事で、私が通う所ではちょうどした温泉のようである。つまり、人生の余の他にも車椅子の人が利用する浴槽もある。ヘルパーは1人当たり

この高齢化期間はかなり長く、それをどう生きるかが、人生の大きなウェイトを占める。「ナトリウム泉」と「炭酸泉」があり、その他にも車椅子の人が利用する浴槽もある。ヘルパーは1人当たり



温泉のような浴槽

高齢婦人もカラオケを熱唱 ひもを利用して手足をきたえる



り50人前後の入浴の手助けを行う。脱衣係は3人、浴槽担当の合

せて6人で高齢者の入浴の手助けを行い、か

なりの重労働と思える。利用する高齢者には有難い存在である。

さて、昔声を出す仕事をしていたが、病気を

をして声が出にくくなった。これを知った利用者の婦人が「カラオケで声を出して歌っている

教会でカラオケを歌うなんて

うなんてと思われ方

が、実際に歌ってみると確かに効果があるように思え始めた。カラオケに限ったことではないが、一

方的に自分で決めつける

のではなく、他人の言うこと

の中に何か良いことがあ

るのではないかと思

うことが、高齢生活を

より豊かに生きる秘密

た。

神父様も布施明の「シクラメンの香り」を歌われ、最後は全員で「知床旅情」を歌って昼食会をお開きに

した。

神様から寿命を伸ばしてもらった。そのことに感謝しつつ、若いころ出会った神とは違う一面を感じながら生活を楽しくしてい

る。



デイ・サービスのカラオケ教室でも高齢の婦人も最近ヒットした演歌まで歌われる。そんな人は若いような印象を受ける。そしてその歌を聞きながら、人それぞれ顔が違いますが、に色んな人生を歩んでこられたのだと、しみり感じることもあ

先日下松カトリック教会の昼食会

のとき、神父様の了解を得てカラオケ大会を行った。妻は私が歌うのを聞いて多少びつくりしたよう

だ。教会でカラオケを歌うなんてと思われ方

が、実際に歌ってみると確かに効果があるように思え始めた。カラオケに限ったことではないが、一

方的に自分で決めつけるのではなく、他人の言うこと

の中に何か良いことがあ

るのではないかと思

うことが、高齢生活を

より豊かに生きる秘密

た。

神父様も布施明の「シクラメンの香り」を歌われ、最後は全員で「知床旅情」を歌って昼食会をお開きに

した。

神様から寿命を伸ばしてもらった。そのことに感謝しつつ、若いころ出会った神とは違う一面を感じながら生活を楽しくしてい

る。